

日本港湾協会賞企画賞を受賞！！

5月23日（水）の午後、函館アリーナで、第91回日本港湾協会定時総会が開催されました。日本港湾協会は港湾整備・振興事業、港湾政策研究等事業、出版・講習会等事業を行っている組織で、毎年1000人以上の参加規模で定時総会を行っています。その際に優れた港湾の研究、港湾建設事業、また各種企画による港湾振興活動に対し、それぞれ論文賞、技術賞、企画賞として表彰を行っています。

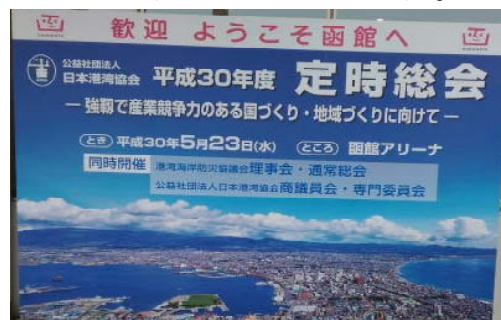
今回は函館で開催され、遺愛生による外国クルーズ客船時の「おもてなし」活動が企画賞を受賞しました。大変名誉なことです。特に優れている点として挙げられていたのは、10年にわたる創意工夫に富んだ地道な活動により、函館港のクルーズ受け入れの「顔」として、魅力ある地域づくり大きく貢献している点であり、効果としては、この長年の「おもてなし」活動が、クルーズ船社に評判となり、クルーズ船誘致や、寄港時観光の決め手となっていることだそうです。

この日の夜の交流会のアトラクションとして、遺愛中学生が参加した和太鼓や遺愛吹奏楽局の演奏が、大好評を博しました。

遺愛時代に外国客船ボランティアを経験した先輩たちの中には、すでにクルーズ船のスタッフになった先輩や、クルーズ船の航海士目指して、静岡の清水海上技術短大で学んでいる先輩もいます。

函館港には、今年も北海道で最も多くのクルーズ船が寄港していますし、来年には、世界で最も有名な客船ともいわれる「クイーン・エリザベス」の北海道初の入港が見込まれています。遺愛の「おもてなし」に対する期待がさらに高まっています。

2018年5月28日（月）



日本港湾協会定時総会案内



和太鼓演奏



遺愛吹奏楽局演奏

